

## 2006年腐敗認識指数は

### 貧困と腐敗の因果関係を明らかにした

#### 規制強化にもかかわらず、腐敗活動は依然活発な状況

2006年11月6日、ベルリン発 本日、トランスペアレンシー・インターナショナル(TI)が公表した2006年腐敗認識指数(CPI)によれば、最貧困諸国が最下位にランクされ、貧困と腐敗の間に強い因果関係があることが明らかになった。

「腐敗は何百万もの人々を貧困に陥れている。この十年で腐敗防止の法規制強化に前進があったが、世界の極貧層の人々の生活は著しい改善を示していない。やるべき課題はまだ多い」と、トランスペアレンシー・インターナショナル会長、ユゲット・ラベルは述べている。

2006年腐敗認識指数は、さまざまな専門家に対するアンケート調査を総合した指数である。これは、全世界163ヶ国の公的部門の腐敗度に関する調査を集計した、現在、世界で最も広範囲に行われる調査指数である。各国を10点満点で採点し、0点は腐敗度が最も高く、10点は最も低い。

この指数は、貧困と腐敗の間に強い因果関係があることを示した。調査対象国のほぼ4分の3が5点以下の点しか取れていない。そこには全ての低所得国およびアフリカ諸国(2カ国を除く)が含まれており、これらの諸国では腐敗が深刻なレベルである。ほぼ半数の71ヶ国が3点以下で、腐敗が蔓延していることを物語っている。最下位はハイチの1.8点で、最下位から2番目をギニア、イラク、ミャンマーが分け合って1.9点。一方、トップはフィンランド、アイスランド、ニュージーランドの9.6点である。

腐敗度が顕著に悪化した国は、ブラジル、キューバ、イスラエル、ヨルダン、ラオス、セイシェル、トリニダード・トバゴ、チュニジア、米国である。一方、顕著な改善を示した国は、アルジェリア、チェコ、インド、日本、ラトビア、レバノン、モーリシャス、パラグアイ、スロベニア、トルコ、トルクメニスタンおよびウルグアイである。

いわゆる「破綻国家」は、明らかにランキングの最下位群に位置している。イラクは、戦前のデータを今回の調査結果に反映させていないが、最下位から 2 番目に落ち込んだ。「国連食糧交換プログラム」中に活動を開始した仲介業者達が、相変わらず腐敗の中心である。このプログラムとの関連で、多くの場合これらの仲介業者を通じてサダム・フセイン体制にキックバックやその他の不正支払いを行った企業は 2,392 にのぼるとヴォルカー委員会は報告している。

先進工業国の点数は比較的高いが、先進国でも大きな腐敗スキャンダルが発覚している。発展途上国に比べれば、腐敗が貧困や経済成長に与える影響は小さい。しかし、これらのスキャンダルを見れば、とても自己満足などしている場合ではない。

## 腐敗の仕掛け人

CPI 指数の良くない国々を見ると、腐敗の仕掛け人なるものが存在し、政治指導者が国家資産の略奪などで不正に収益を得たり、その資金を洗浄したり保管するのを手助けしていることがわかる。これらの仲介業者は、多くは先進国で訓練されたか、または活動をしている人たちで、自発的に腐敗を助長しているのだ。つまり、腐敗者たちは、不正な所得獲得、資金移動、保管を喜んで手助けする銀行家・会計士・弁護士などの専門職がいることを知っているのである。

ケニアで発生したアングロ・リーシング関連のスキャンダルは、その一例である。ケニアの反腐敗活動家ジョン・ギソングによれば、シェル社を使ったり、ヨーロッパやオフショアにある銀行口座を使ったりした詐欺まがいの契約で公金横領が行われたのである。また、TI ケニアが作成したケニア贈賄指数によれば、国民の半数以上が一日 2 ドル以下で生活しているにもかかわらず、この国では年間 10 億ドル近くの金が賄賂に使われている。

贈収賄には、贈賄者（供給側）と収賄者（需要側）がいる。TI は、OECD 外国公務員贈賄防止条約により外国公務員への贈賄を犯罪化するなど、供給側を抑制するための強力な手段を提唱しているし、また、需要側でも公務員の資産公開や行動規範の採用などを推進している。

だが、腐敗取引を可能にしているのは、多くの分野の専門職である。邪悪な腐敗の仕掛け人が贈賄者と収賄者を結びつけ、お互いが裏切らないで利益を分かち合う雰囲気を作り出している。法的拘束力のある契約書を作り、腐敗取引に

合法的な装いを凝らし、発覚した場合には非難がスケープゴートに向くような仕掛けを作っている。

「弁護士・会計士の事務所・協会や銀行は特に責任が重く、腐敗防止のために一層強い行動を取らなければならない。検察官や会計検査官、コンプライアンス・オフィサーが先頭に立って指導すれば、彼らも腐敗撲滅の戦いに打ち勝つ勇者たちになれるのだ」とトランスペアレンシー・インターナショナルのチーフ・エグゼクティブ、デービッド・ナスバウムは述べている。

トランスペアレンシー・インターナショナルは、次のことを推奨する：

- ・ 国際弁護士協会や国際コンプライアンス協会、公認会計士協会といった専門職協会が、腐敗に関わる行動規範をそのメンバーに奨励し採用させること
- ・ 真面目な仲介業者には、自らがどうあるべきかを良く理解できるように公的教育を施すこと
- ・ 腐敗に加担するような弁護士、会計士、銀行員といった専門職へは法的、職業的制裁を課すこと
- ・ 透明性が低いために腐敗取引を助長することのないように、金融センターの機能の監視を強化すること